

17年度センター試験実施速報(中間発表)

セ試平均点(900点満点)は、

文系型 8.5 点アップの 546.9 点、

理系型 0.8 点ダウンの 538.6 点！

基幹科目は英語ダウン、国語・と数学・B アップ、数学・A 前年並み。
地歴・公民のアップと、理科のダウンが明暗分かつ

旺文社 教育情報センター

17年1月19日

志願・受験状況(大学入試センター発表)

< 志願状況：志願者数約 57 万人で、2 年連続減少 >

志願者数、前年より約 1 万 7,000 人減：17 年の志願者数は、前年比 3.0%ダウンの 56 万 9,950 人で、2 年連続の減少となった。

現役、浪人とも減少：現役は 18 歳人口・高卒者数減の中、16 年より 5,009 人(1.2%)減り、3 年連続の減少。ただ、現役志願率は 35.1%で、過去最高を記録した。

浪人は 16 年より 1 万 2,078 人(7.9%)も一気に減り、2 年連続の減少であった。16 年の減少率を 5.2 ポイントも上回り、8%近い減少率となったのは、受験生数の減少に加え、国立大を中心とした 16 年からのセンター試験「5(6)教科 7 科目」化や 16 年センター試験の平均点アップ、先行き不透明な経済情勢など、浪人を敬遠する傾向が一段と強まったことが原因とみられる。

志願者数減の背景：私立大のセンター試験参加増(21 大学 89 学部増の 408 大学 1,092 学部)と短大の参加増(15 短大増の 112 短大)、及び 16 年新設で別日程入試からの公立大の新規参加増(3 大学 2 学部 1 学科増)に加え、過去最高の現役志願率など、センター試験利用の入試環境は拡大の方向にある。

しかし、17 年の 18 歳人口は、16 年より 4 万 5,000 人(3.2%)の減少、高卒者数は 3 万 9,000 人(3.2%)の減少がそれぞれ見込まれており、大学受験生数(実数)も 16 年より 3 万 1,000 人(4.3%)減の 69 万 1,000 人、短大は 4,000 人(3.8%)減の 10 万 2,000 人程度と予測される。こうしたことが、センター試験志願者減にもつながっているとみられる。

< 受験状況：軒並み受験者減の中、理科 のみ約 1 万 3,300 人(6.4%)の大幅増 >

第 1 日目(1 月 15 日)と第 2 日目(16 日)の受験状況は、以下のとおり。

[第 1 日目](1 月 15 日)

教科等	17 年受験者(対前年比)	17 年受験率(対前年比)	16 年受験者	16 年受験率
外国語	520,940 人(- 2.9%)	91.4%(±0)	536,748 人	91.4%
地 歴	369,811 人(- 5.4%)	64.9%(- 1.6 ポイント)	390,736 人	66.5%
理科	221,347 人(+ 6.4%)	38.8%(+ 3.4 ポイント)	208,024 人	35.4%
理科	238,674 人(- 4.8%)	41.9%(- 0.8 ポイント)	250,778 人	42.7%
理科	185,570 人(- 3.7%)	32.6%(- 0.2 ポイント)	192,736 人	32.8%

[第 2 日目](1 月 16 日)

教科等	17 年受験者(対前年比)	17 年受験率(対前年比)	16 年受験者	16 年受験率
国 語	495,085 人(- 3.0%)	86.9%(±0)	510,355 人	86.9%
数学	383,636 人(- 3.4%)	67.3%(- 0.4 ポイント)	397,055 人	67.7%
数学	340,248 人(- 3.9%)	59.7%(- 0.7 ポイント)	354,116 人	60.4%
公 民	314,439 人(- 4.1%)	55.2%(- 1.0 ポイント)	327,922 人	56.2%

ほとんどの受験生が受験する外国語の受験者数は、16 年を 1 万 5,808 人(2.9%)下回る 52 万 940 人で 2 年連続の減少となった。受験率(受験者数 ÷ 志願者数)は 16 年と同じ、91.4% だった。

各教科(受験枠)の受験状況を見ると、受験者数は理科 以外、全て減少している。受験率も理科 のアップ、外国語・国語の前年と同率以外、全てダウンしている。

理科 の受験者増は、前年に引き続き総合理科の受験者増によるとみられる。

総合理科の受験者数はここ数年、毎年増加しており、16 年は前年に比べ 4 万 935 人(314.0%)も増えている。これは、他の理科 4 単科目(B 科目)より比較的平易だとみられていること、2 単科目(A 科目)とは異なり、理科の選択指定科目(2 科目受験も含め)となっていること、地理歴史の受験の後、理科 や理科 受験までの待ち時間の有効活用として、高得点を期待する“総理保険”受験者(主に文系)が増えていることなどによる。

公民は“5(6)教科 7 科目化”で文系標準型の“必須教科”となり、16 年は史上最多の受験者数を記録したが、17 年は 1 万 3,483 人(4.1%)減少した。

なお、公民は地歴に比べ、従前から比較的得点し易いと思われており、理系志望者を中心に、いわゆる“公民保険”としての受験もあろう。

科目別平均点等(中間集計：大学入試センター発表、1 月 19 日)

1 月 15・16 日に実施された 17 年度センター試験(本試験)の科目別平均点等の中間集計が、19 日大学入試センターより発表された(最終ページ一覧表参照)。

前年より平均点がアップした主な科目は、現代社会(前年比+12.5 点)、化学 B(同+11.1 点)、地理 B(同+7.7 点)、数学 ・ B(同+7.0 点)、国語 ・ (同+5.4 点)日本史 B(同 2.7 点)などで、国語 ・ 、数学 ・ B といった基幹科目が含まれている。

数学 ・ A は 0.2 点ダウンのほぼ前年並みとなった。

一方、ほとんどの受験生が受験する英語は 13.2 点の大幅ダウンとなった。

文理共通の英語がダウン、国語 ・ と数学 ・ B のアップ、数学 ・ A の前年並みで、結局、地歴・公民(文系型の標準 2 科目)の平均点アップと理科(理系型の標準 2 科目)の平均点ダウンが、文系型と理系型の明暗を分けた結果となった。

国語 ・ は現代文(評論)の文章量が減少し、古文、漢文も含め、全体として前年よりやや平易となった。数学 ・ A は選択問題が難しくなったものの、2 次関数や三角比などが易くなり、全体の難易度は前年並み。数学 ・ B は第 2 問の出題内容が例年と変わったものの、計算量も少なく、全体としてやや易くなった。

化学 B は思考問題や複雑な計算問題が減少したこと、現代社会は大問数が増えたものの、全体としては易くなり大幅な平均点アップにつながったようだ。

一方、大幅な平均点ダウンとなった英語は、全体の語数が 200 語近くも増えたことに加え、第 3 問 C の適文補充と第 4 問の図表の読取の難化が響いたようだ。

生物 B は、実験問題の割合が増し、設問解答数が増えたことなどで大幅な平均点ダウンとなったようだ。

前述した理科 の総合理科の受験者数は、前年の中間集計時点と比べ、既に 2 倍以上の 2 万 1,264 人に達し、前年の確定受験者数(5 万 3,971 人)を大きく上回ることは確実と見られる。

なお、大学入試センターから発表された科目別平均点と受験者数(中間集計)をもとに旺文社が算出した 5(6)教科 7 科目(900 点満点)の加重平均点は、文系標準型(地歴と公民各 1 科目、理科 1 科目)が 546.9 点、理系標準型(地歴と公民合わせて 1 科目、理科 2 科目)が 538.6 点となり、文系型アップ、理系型前年並みとなった。

文・理系型共通の 5 教科 6 科目の平均点(地歴と公民合わせて 1 科目、理科 1 科目の 800 点満点を 900 点満点に換算)は 540.8 点で、16 年(確定)と比べると 3.0 点アップしている。得点調整の対象科目間の平均点較差をみると、地歴：地理 B - 日本史 B = 10.7 点、公民：現代社会 - 政治・経済 = 5.7 点、理科：化学 B - 生物 B = 13.7 点となっている。いずれも得点調整のガイドラインである 20 点以内に収まっており、得点調整は実施されない模様だ。

次葉に平均点(中間集計)一覧を掲載

●平成17年度大学入試センター試験(中間集計)平均点一覧

<平成17年1月19日 大学入試センター発表>

教科名	科目名	平成17年(中間)		平成16年(中間)		対前年比較	
		受験者数	平均点	受験者数	平均点		
文系標準型平均点(900点満点)			546.9		538.4	8.5	
理系標準型平均点(900点満点)			538.6		539.4	▲ 0.8	
国語 (200点)	国語Ⅰ	21,481	115.7	19,437	118.5	▲ 2.8	
	国語Ⅰ・Ⅱ	187,651	117.1	167,242	111.7	5.4	
地理歴史 (100点)	世界史A	1,002	45.4	897	45.1	0.3	
	世界史B	37,462	63.9	35,661	62.2	1.7	
	日本史A	2,489	54.2	2,525	44.2	10.0	
	日本史B	62,879	59.5	54,146	56.8	2.7	
	地理A	3,413	65.9	2,878	60.3	5.6	
	地理B	33,275	70.2	31,207	62.5	7.7	
公民 (100点)	現代社会	67,864	70.7	62,454	58.2	12.5	
	倫理	20,393	67.6	16,449	70.3	▲ 2.7	
	政治・経済	28,596	65.0	26,333	62.6	2.4	
数 学	数学① (100点)	数学Ⅰ	5,707	49.4	5,534	52.9	▲ 3.5
		数学Ⅰ・A	144,205	70.1	130,858	70.3	▲ 0.2
	数学② (100点)	数学Ⅱ	4,882	40.1	4,229	33.2	6.9
		数学Ⅱ・B	127,179	53.2	112,891	46.2	7.0
		工業数理	13	51.4	19	59.5	▲ 8.1
		簿記	355	51.8	256	56.6	▲ 4.8
	情報関係基礎	174	55.0	147	55.3	▲ 0.3	
理 科	理科① (100点)	総合理科	21,264	49.0	10,330	56.6	▲ 7.6
		物理ⅠA	753	68.6	663	62.3	6.3
		物理ⅠB	56,940	60.1	50,872	63.2	▲ 3.1
	理科② (100点)	化学ⅠA	2,323	64.9	1,625	62.2	2.7
		化学ⅠB	81,171	66.3	72,451	55.2	11.1
		地学ⅠA	1,689	58.5	1,426	60.5	▲ 2.0
		地学ⅠB	7,339	64.1	6,535	64.4	▲ 0.3
	理科③ (100点)	生物ⅠA	3,587	56.6	2,732	65.3	▲ 8.7
生物ⅠB		61,043	52.6	52,455	64.2	▲ 11.6	
外国語 (200点)	英語	224,425	116.5	195,691	129.7	▲ 13.2	
	ドイツ語	70	135.0	71	144.6	▲ 9.6	
	フランス語	121	134.3	104	141.1	▲ 6.8	
	中国語	208	175.7	214	154.7	21.0	
	韓国語	145	157.4	93	156.7	0.7	

注) 1. 文系標準型平均点(900点満点)は、国語(200点)、地歴(100点)、公民(100点)、数学(100点)、数学(100点)、理科(、、合わせて集計100点)、外国語(200点)の6教科7科目の加重平均点。

2. 理系標準型平均点(900点満点)は、上記文系型の地歴と公民を合わせ(1教科として集計100点)、理科を2科目(3通りの受験パターンから算出した200点)とする5教科7科目の加重平均点。文系・理系とも、大学入試センター発表の科目別平均点(小数第2位まで)と受験者数をもとに旺文社が算出(小数第1位まで)。

3. 5教科6科目(文・理系共通の800点満点を900点満点に換算)の加重平均点は540.8点で、16年(確定)より3.0点のアップ。

4. 地歴(B科目間)、公民、理科(B科目間)における得点調整は実施されない模様。